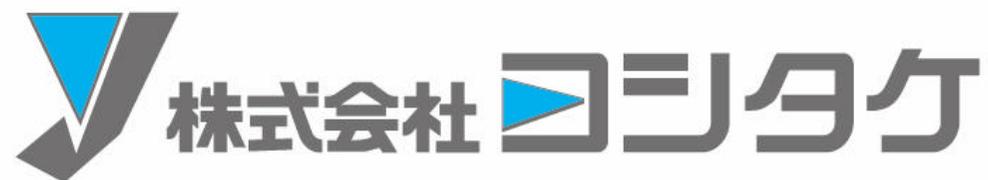


平成19年9月中間期 決算説明資料



JASDAQ

Listed Company 6488



平成19年9月中間期 決算概要

平成19年9月中間期の総括



売上高 増収となりました。

1. 素材価格の高騰に対応するため昨年10月に実施した販売価格の改訂
2. 底堅く推移する民間設備投資
3. 積極的な提案型営業の推進

販売強化

神奈川営業所の開設、キャラバンカーの全国配備



経常利益 増益となりました。

増益要因

- 1 .好調な売上高
- 2 .順調に推移している関係会社
- 3 .当社の販売政策による在庫積み増し

阻害要因

- 1 .高騰、高止まりしている素材価格

平成19年9月期の中間連結貸借対照表



(単位:千円)

	前中間期	当中間期	増減額
流動資産	4,352,272	5,275,651	923,379
有形固定資産	1,744,258	1,807,447	63,189
無形固定資産	168,211	132,411	35,800
投資その他資産	2,269,012	1,862,876	406,136
固定資産	4,181,481	3,802,735	378,746
資産合計	8,533,754	9,078,386	544,632
流動負債	1,365,215	1,379,270	14,055
固定負債	473,274	455,657	17,617
負債合計	1,838,489	1,834,927	3,562
純資産合計	6,695,264	7,243,458	548,194
負債純資産合計	8,533,754	9,078,386	544,632

平成19年9月期の中間連結貸借対照表の 主な変動要因



流動資産：

投資有価証券売却（償還）による現預金増加
当社販売政策によるたな卸資産の増加

無形固定資産：

「のれん」の償却による減少

投資その他の資産：

提携先の有価証券を約定通り償還したことによる減少

平成19年9月期の中間連結損益計算書



(単位:千円)

	前中間期	当中間期	増減額
売上高	3,109,854	3,171,158	61,304
売上原価	1,783,353	1,785,946	2,593
売上総利益	1,326,501	1,385,211	58,710
販売費及び一般管理費	1,011,063	1,056,259	45,196
営業利益	315,437	328,951	13,514
営業外収益合計	117,335	150,777	33,442
営業外費用合計	11,259	13,865	2,606
経常利益	421,513	465,864	44,351
特別利益合計	1,900	4,261	2,361
特別損失合計	9,804	2,744	7,060
税金等調整前中間純利益	413,609	467,381	53,772
法人税、住民税及び事業税	133,841	239,000	105,159
法人税等調整額	34,891	3,122	31,769
中間純利益	244,876	225,258	19,618

平成19年9月期の中間連結損益計算書の 主な変動要因



販売費及び一般管理費：

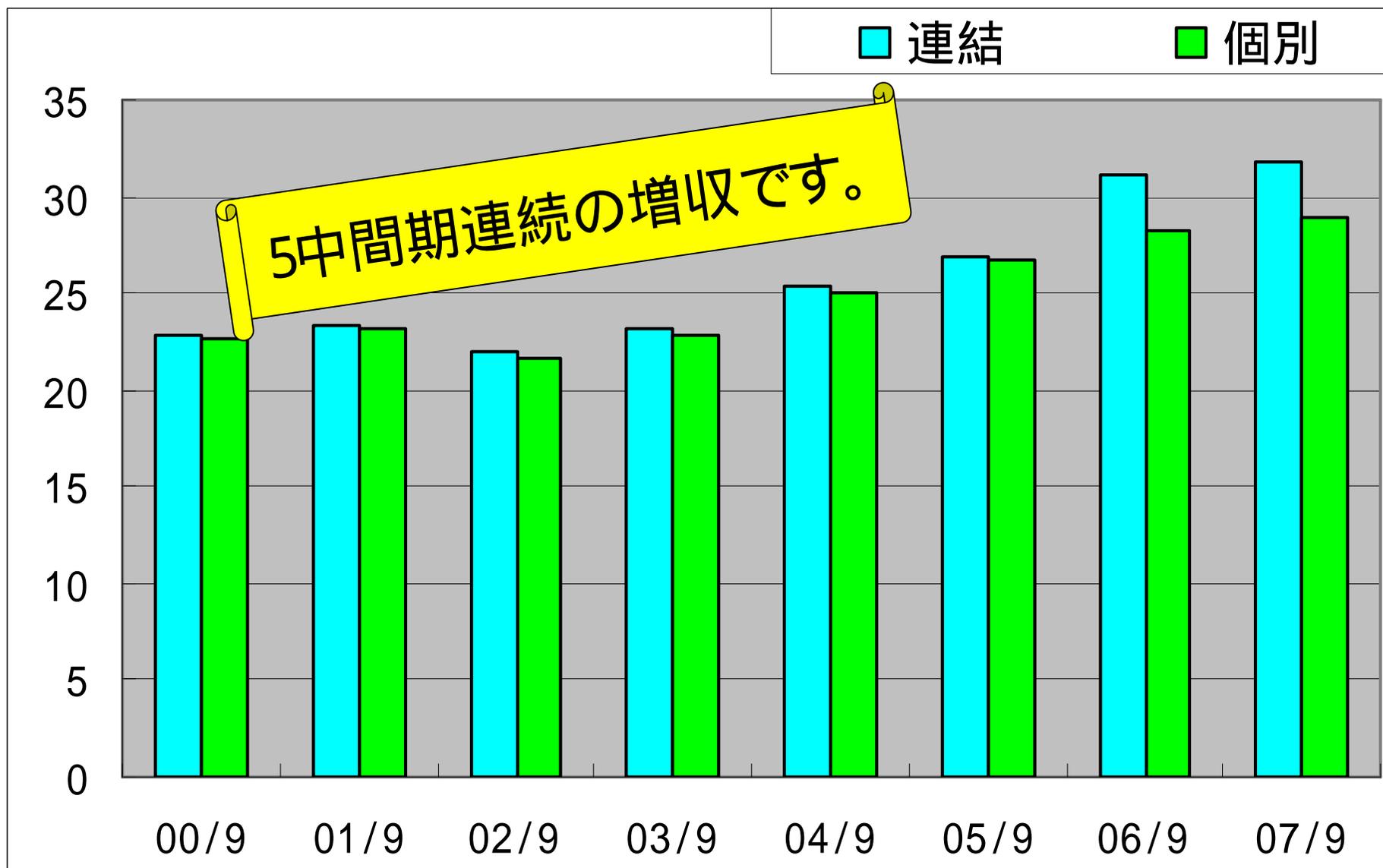
販売力強化のため、製品カタログ「ガイドブック」の大幅改定を実施し、一時的に増加しました。

中間純利益：

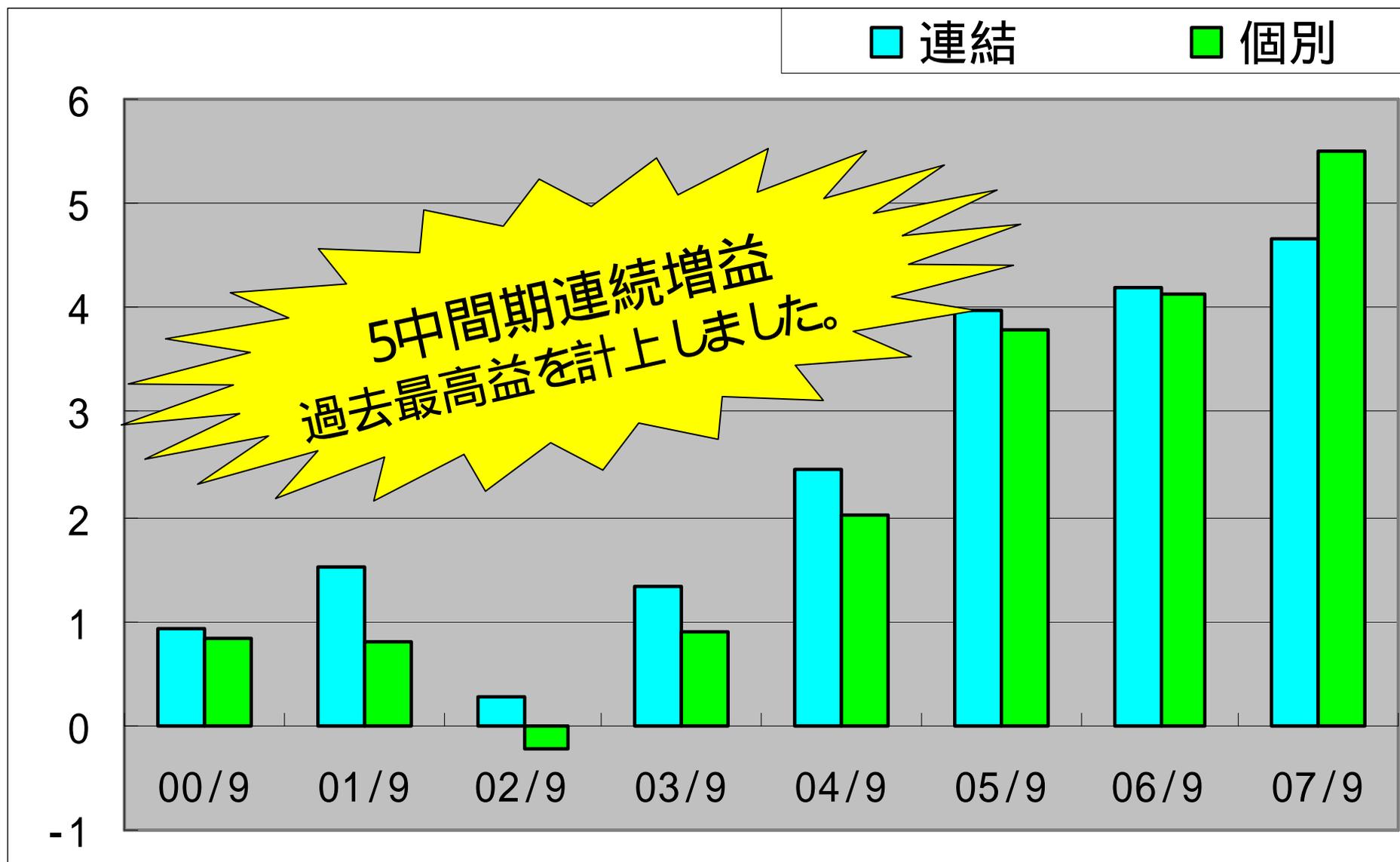
経常利益、税金等調整前中間純利益は増益となりましたが、外国税額控除の期間配分の影響により税負担が増加し、中間純利益は減益となりました。

この外国税額控除の期間配分の影響は当連結会計年度末に解消されるものであります。

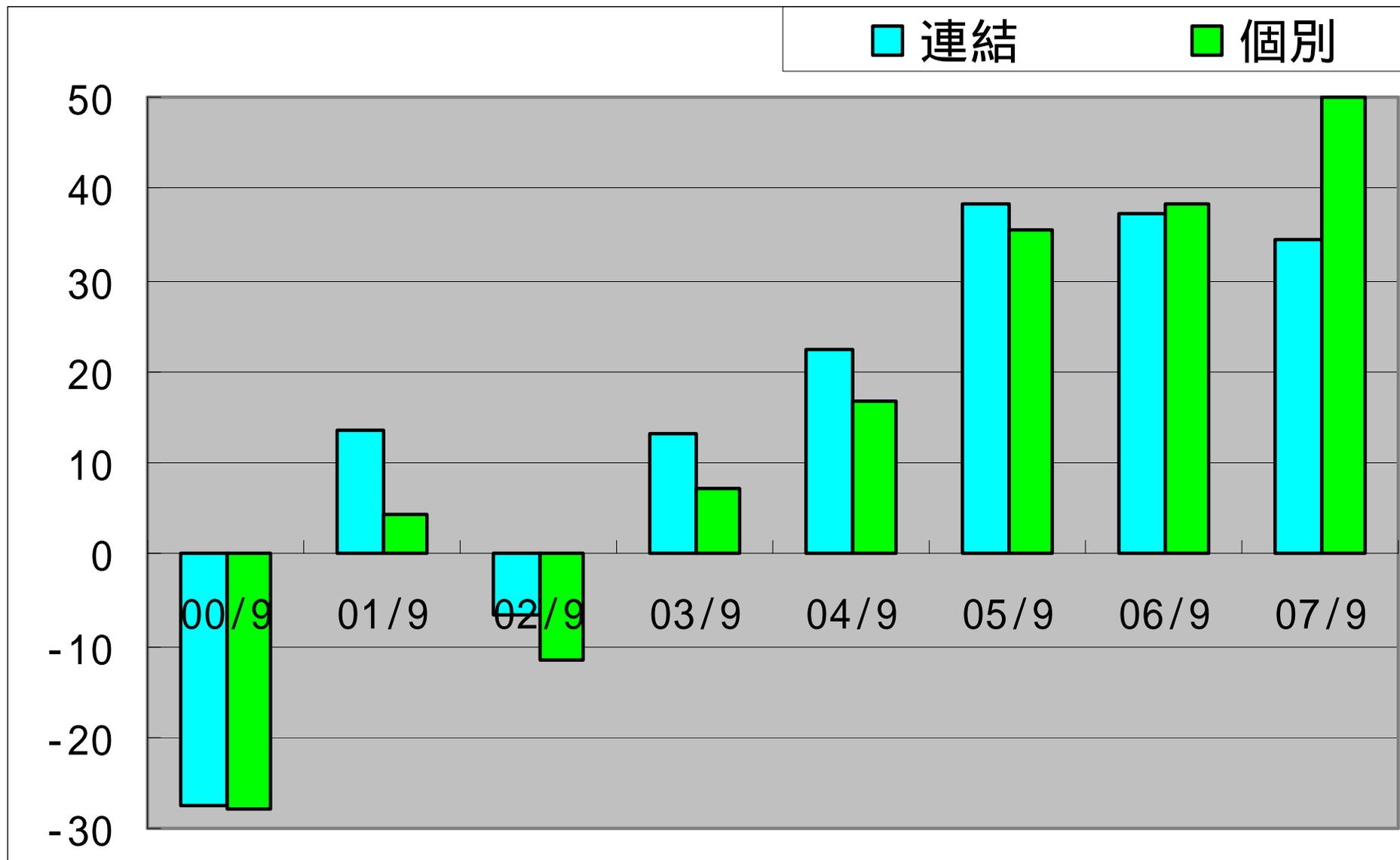
売上高の推移



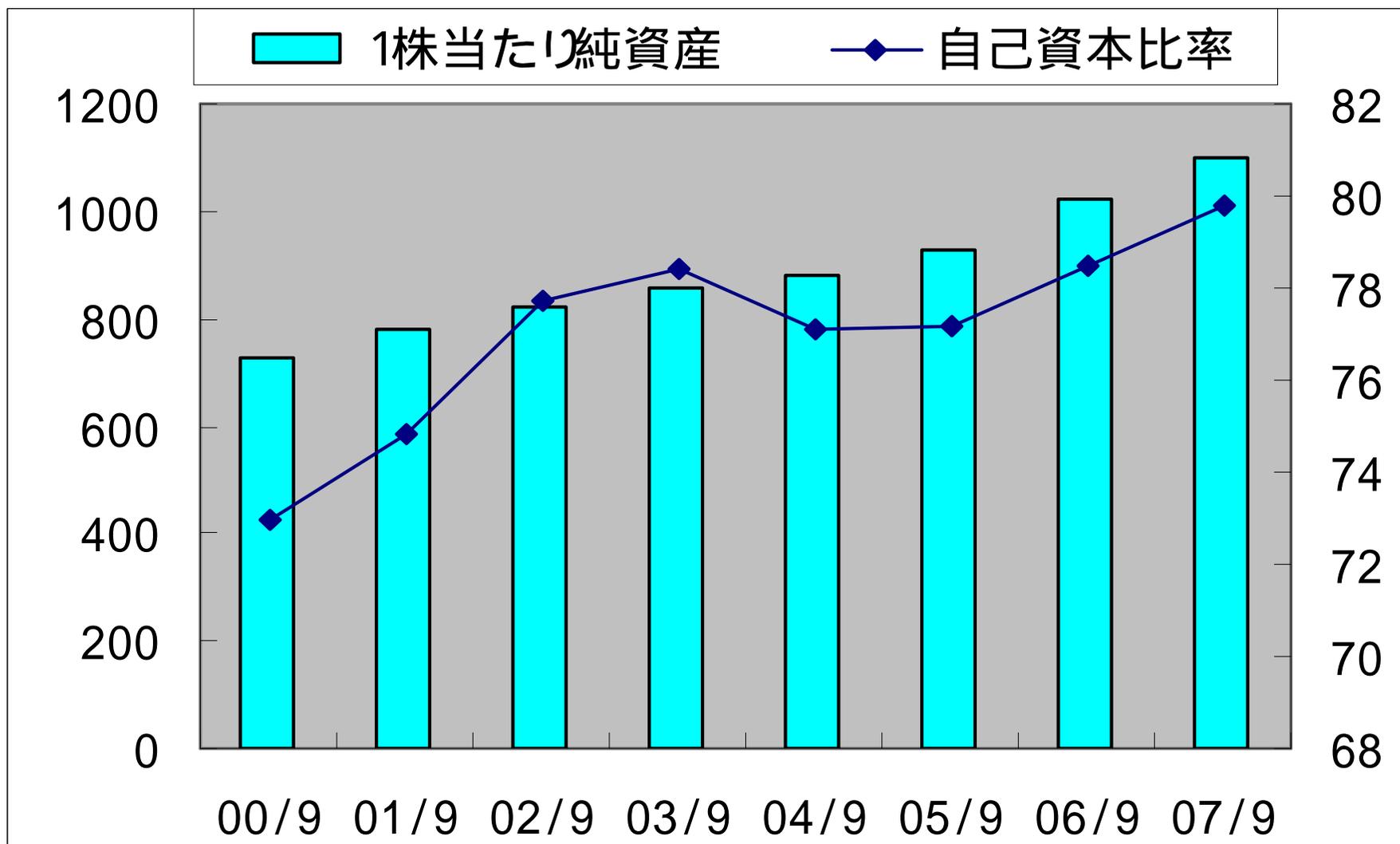
経常利益の推移



1株当たりの中間純利益の推移



1株当たり純資産 (連結) の推移





平成20年3月期 業績予想

平成20年3月期業績予想



(単位:千円)

	前期	今期予想	増減額
売上高	6,495,779	6,720,000	224,221
営業利益	761,933	710,000	51,933
経常利益	1,011,668	1,000,000	11,668
税金等調整前当期純利益	1,000,159	1,000,000	159
当期純利益	641,245	650,000	8,755

平成20年3月期業績予想の概要



おおむね予想通り順調に推移しています。

連結売上高 :以下のとおり増収を予想しています。

民間設備投資の好調持続による売上増加
価格改定による単価上昇

経常利益 :以下のとおり前期並みの利益を予想しています。

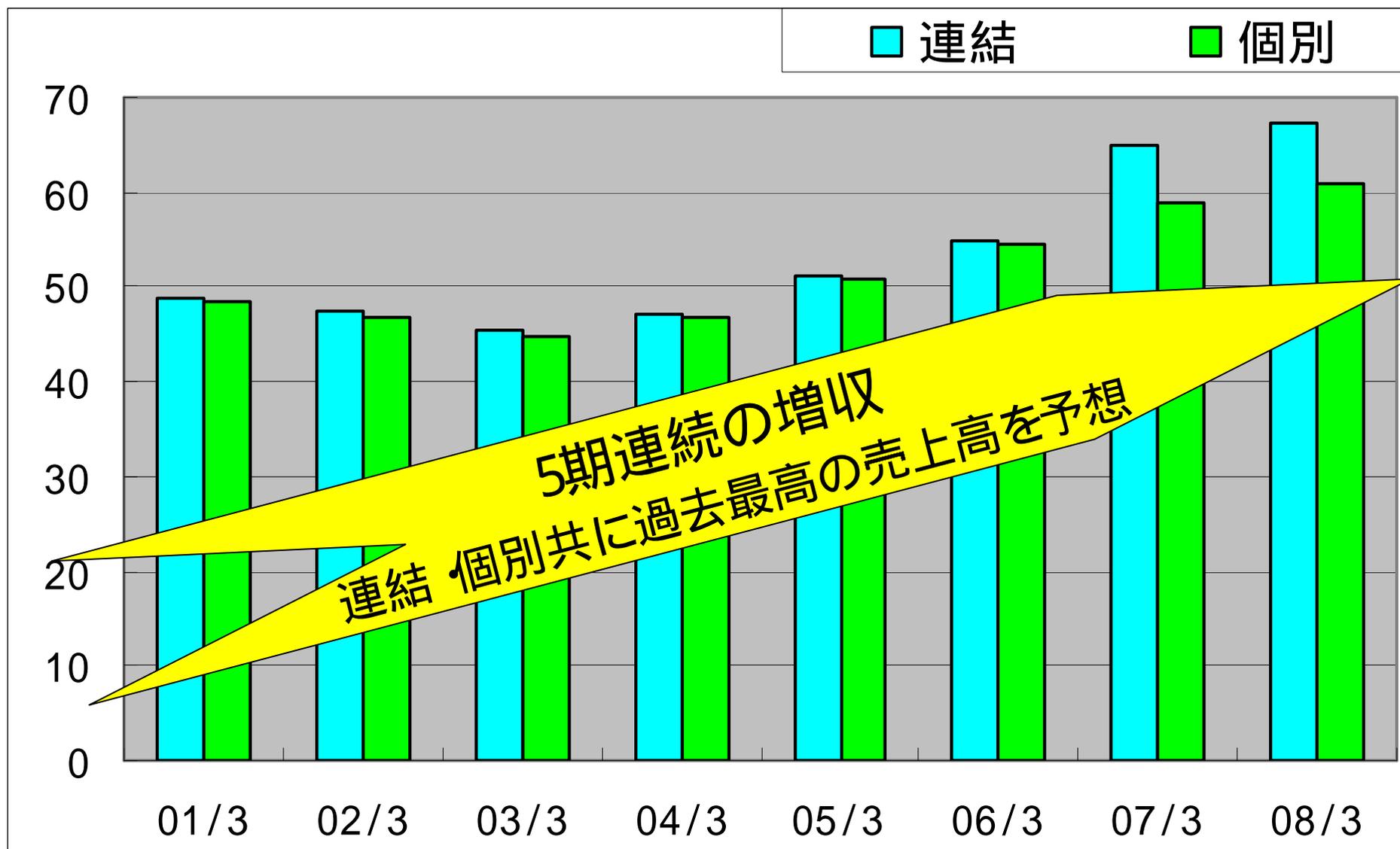
売上高は増加するものの、**素材価格の高騰、高止まり**

当期純利益 :以下のとおり今期比微増を予想しています。

中間純利益は税負担の増加により、前期比減となりましたが、**外国税額控除の期間配分の影響**が当連結会計年度末に解消されること

多額の特別損失の計上を予定していないこと

売上高の推移



中期 7年計画について



2005年4月に中長期7年計画を策定いたしました。
これは当社が今後も長期的で持続的な成長を続けられるよう目指すものであります。

この計画の骨子としましては次の4点を基本としております。

- 1.新製品開発
- 2.市場占有率の向上
- 3.海外市場での販路拡大
- 4.社内教育体制の強化

おおむね順調に推移しております。



企業理念

フェア ビジネス

Y's a Business of Fair Endeavor